

会山行報告書

通算山行NO	No. 332B	報告者	後藤隆徳
年 月 日	2006年11月18日(土・晴)		
山 名	天城・戸塚山(1360m)南尾根～万三郎岳(1406m)		
2万5千図	湯ヶ島・天城山・稲取・湯ガ野		
温 泉	片瀬温泉「花いっぱい温泉」500円		
体力度=5・きつい 技術度=3・普通 読図=問題ない 藪漕=笹が辛い、結構ある 道標=全く無い 頂上の展望=万三郎は北にある トイレ=ない 携帯=部分 OK			
海拔0mから万三郎岳に上る			
コースと タイム	長泉町5:00—鹿路庭峠—片瀬海岸発7:00—東京発電所7:40—天城ハイランド9:10—林道10:00—戸塚山11:15—万三郎岳11:40～12:20—天城ハイランド14:00—自転車で車を回収・片瀬海岸14:40—花いっぱい温泉—長泉		
標 高 差	上り 片瀬海岸0m～戸塚山1360m=1360m 片瀬峠約1300m～万三郎岳1406m=100m 下り 万三郎岳1406m～天城ハイランド700m=約700m		
参 加 者	CL・後藤隆徳(59)、(宮川寿夫)		

一度はやりたいたと思っていた海拔0mから万三郎岳を実行に移す。累計標高差は実に1460mを数える。パートナーは「さわやかハイク」最強の51歳の宮川氏。加藤は残念ながら会社の慰安会で出掛けてしまった。

車は鹿路庭峠を越え片瀬に向かう。白田川を遡り車回収用の自転車を、標高700mの天城ハイランドにデポする。再び片瀬に下り近くの公園に車を置き、片瀬海岸で海水に片手を浸し、小石を拾い出発する。万三郎岳は遙か彼方に聳える。しかし、我ながら「酔狂」「こだわり」には呆れてしまう。

白田川を行くと40分で東京発電所(注・東京電力ではない)に着く。戸塚山南尾根は実質ここから始まる。発電所裏のミカン畑脇の急登をまずこなす。何故か大きな蛇がいた。ここから天城ハイランドまで、概ね人工林が続き全く面白くない。しかもハイランドの別荘地は粗大ゴミの山でガッカリさせられる。

天城ハイランドから山らしい山。美しい自然林が続く。右手の万二郎岳が「天城富士」みたいだ。標高1000mで林道が横切る。林道上にヒメシャラ・ブナの奇麗な森と大きな平坦地があった。勝手に「天城平」と命名。しかしこの景観を目にしたのはそれ程多くはないだろう。ここから笹が多くなる。南面ゆえか。

笹を掻き分け苦しい上りが続く。2年前山スキーで傷めた右ふくらはぎ肉離れのあとがどうもスッキリしない。戸塚山に上がった。ここから片瀬峠まで少し下り、万三郎岳の最後の上りが100mある。とうとうここまで来た。最後の頑張りだ。相方の宮川氏も「泣きごと」は言わず黙々と上る。

最後は走って頂上に着いた。随分と人が多い。まさか我々が「海」から来たとは誰も思っていないだろう。片瀬海岸の小石をそっと三角点柱の上に置いて西のブナ林で昼食にした。気温が低く調子の悪い右足が痙攣しそうになった。こんなことは初めての経験だ。

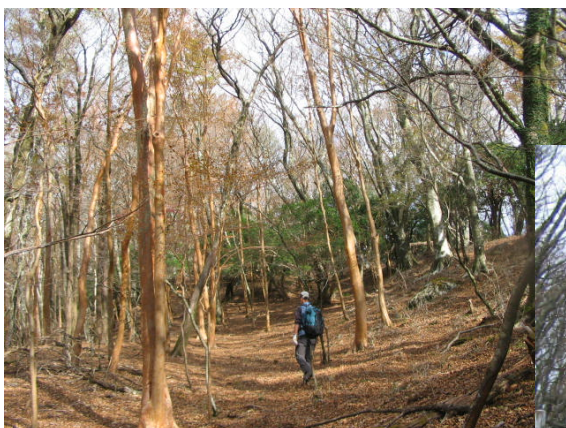
片瀬峠からいい紅葉の中を林道に下り、そのままハイランドに向かう。車回収の標高差700mのダウンヒルは「怖い」だった。一つの課題が終わった。



片瀬海岸
故・宮川さん



万二郎岳



万三郎岳

